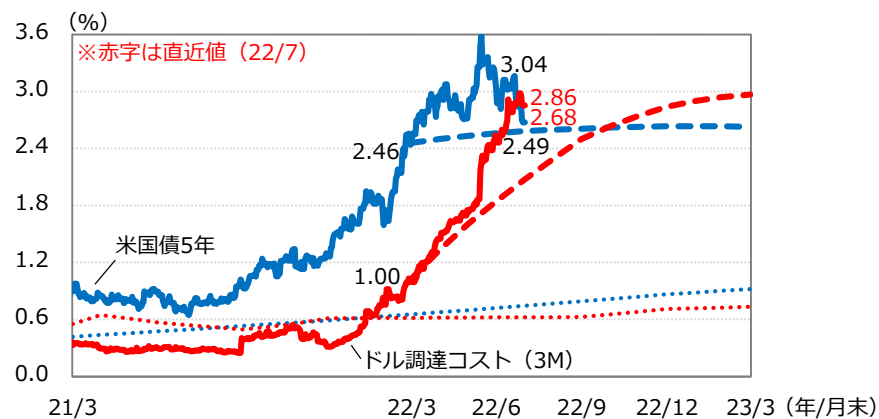
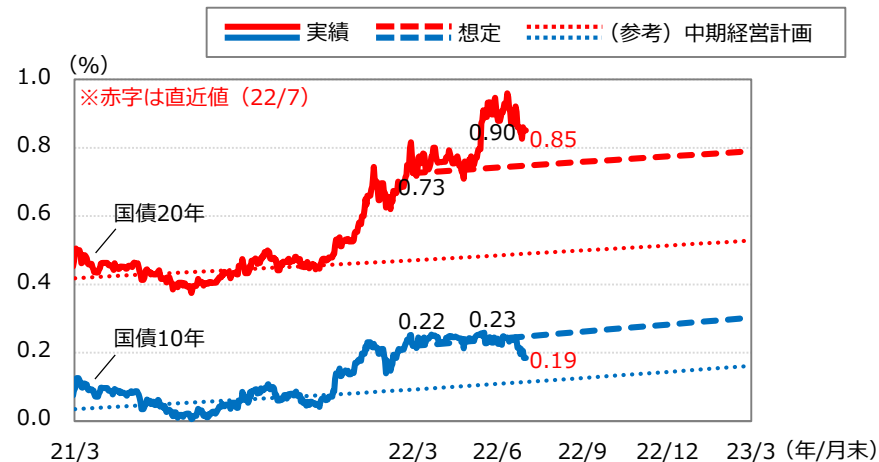


## 業績予想の前提条件

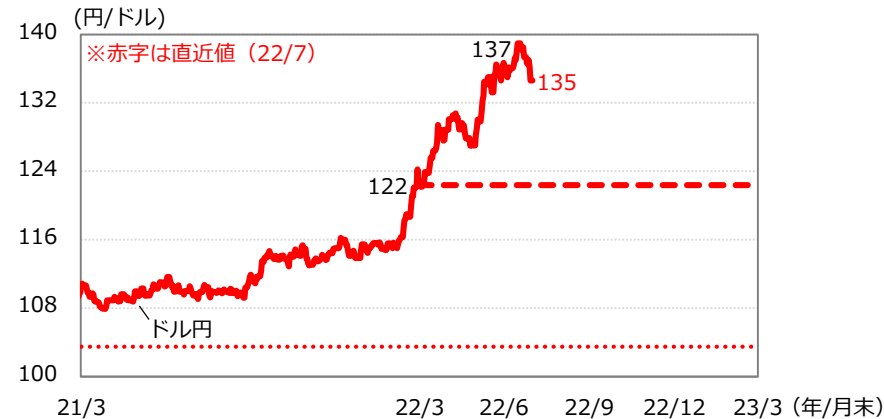
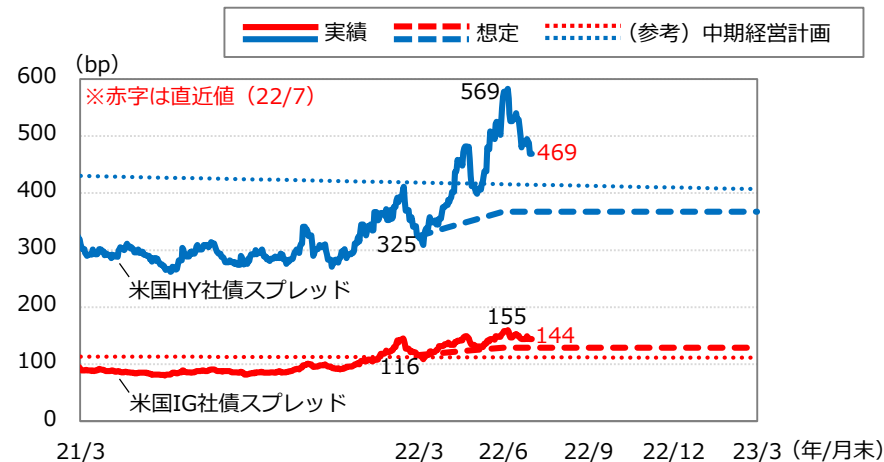
各リスクファクターの前提は、次の通り。

- ①内外金利：22/3末のインプライド・フォワード・レートに沿って推移する想定
- ②海外のクレジットスプレッド：22/3の平均水準で推移する想定
- ③為替：22/3末の水準で推移する想定

## 内外金利／ドル調達コスト



## 米国IG・HY社債スプレッド／ドル円

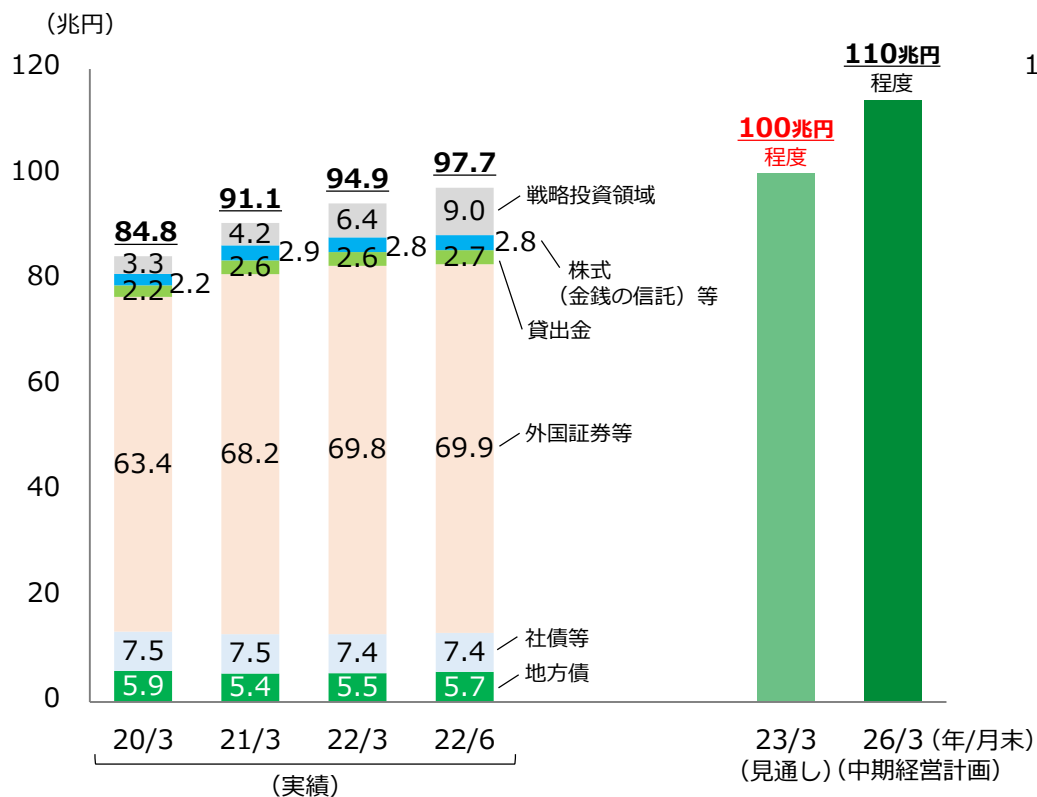


## 個別計画 ①運用計画

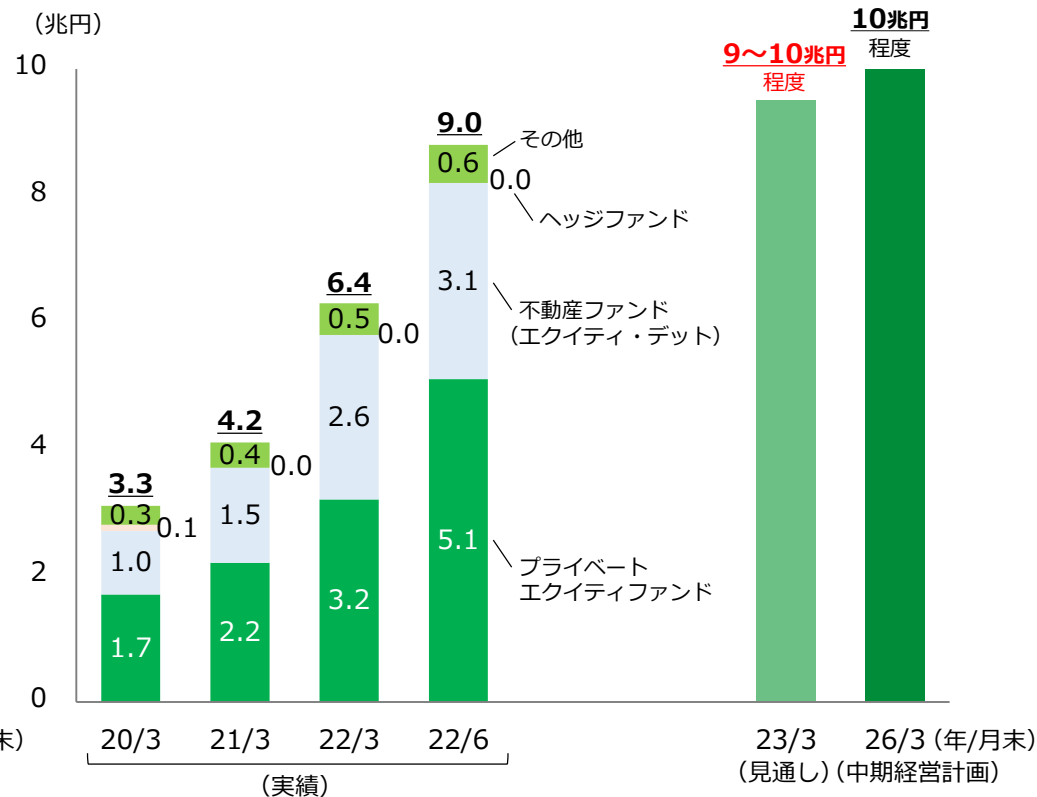
マーケット環境を注視し、適切なリスク管理のもと、IG領域を中心にリスク性資産残高を積み増す計画。戦略投資領域については、優良ファンドへの選別的な投資を継続。

22年度は、リスク性資産残高：100兆円程度、戦略投資領域残高：9～10兆円程度を目指す（具体的な運用方針はP.35参照）。

### リスク性資産残高（単体）



### 戦略投資領域残高（単体）



注 プライベートエクイティファンド及び不動産ファンドの残高については、一部アセットを除き、22年度から**時価ベース**。